

所 属	県土整備部 砂防課		
担当(係)名	砂防保全担当	内線	3744

新 砂防と治山が連携した「里山砂防」の実施

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
1,566,000	国庫 751,700	工事請負費 1,063,600
(前年度	県債 814,300	(砂防えん堤工等)
1,360,000)		委託料 313,500
		(測量設計等)

2 背景・現状

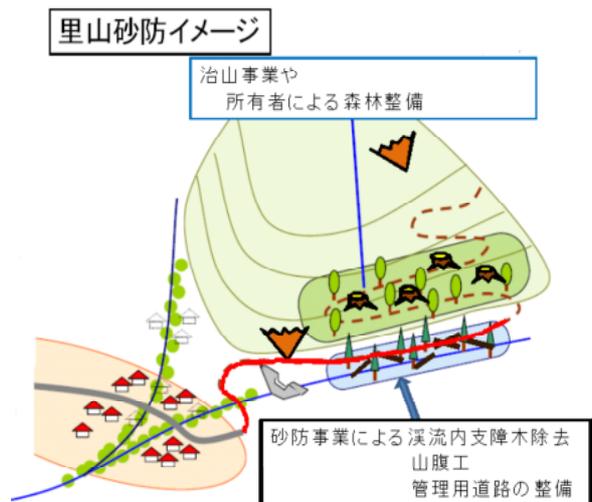
地方の過疎化・高齢化や地域を支えてきた産業の衰退など、地域を取り巻く社会環境の変化などにより、集落周辺の斜面・溪流の荒廃が進んでいる。さらに、近年、局地的な集中豪雨による土砂災害や流木災害が多発しており、今後もこのような災害のリスクが高まると予想され、被害をより軽減できる取り組みが求められている。

3 事業目的

土砂流出や流木による被害を軽減し、かつ、地域環境の改善を図るため、里山と呼ばれる中山間地等の集落周辺において、より効果的な土砂災害防止対策を行う。具体的には、砂防えん堤上流域の荒廃地等を砂防事業と治山事業が連携して一体的に整備を実施するとともに、森林所有者による森林整備（間伐等）に利用可能な砂防施設管理用道路の整備を行うこと等の対策を図る。これにより地域環境に貢献し、土砂災害に強く活力のある地域づくりに寄与する。

4 事業概要

- 藤倉1沢（山県市）ほか4箇所
- 新・従前は流木災害が発生した溪流等で、砂防えん堤と治山えん堤を連携して整備してきた。今後は、新たに森林所有者、土木・農林事務所、市町村の協働により里山整備プランを作成し整備を推進。
 - 新・森林の整備に利用可能な砂防施設等管理用道路の整備
 - ・溪岸浸食による土石流の発生を防ぐための溪流保全工
 - ・崩壊地の拡大により近接する施設等への影響を防ぐための山腹工
 - ・流木の発生源対策として溪流内支障木除去



(款) 土木費	(項) 砂防費	(目) 砂防事業費
(明細書事業名) 公共事業		
	通常砂防費他	